1. いろいろな手続き

でいりゅうしかく てっづ にゅうかん てっづ **在留資格の手続き(入管でする手続き)**

ざいりゅうしかく 在留資格

ずいりゅう ● 在留力ード

にほん ちゅうちょうき (6 ヶ月より長く) いることのできる「在留資格」がある外国人には、「在留カード」が発行されます。 にゅうこく 人国したときに「在留カード」を受け取らなかった人は、近くの役所の窓口にパスポートをもっていき、住所のとどけで じゅうじょ ゆうびん ざいりゅう おく 届出をしてください。届出をした住所に郵便で「在留カード」が送られてきます。「在留カード」には、氏名、せいねんがっぴ せいべつ こくせき ちいき じゅうきょち ざいりゅうしかく 生年月日、性別、国籍・地域、住居地、在留資格、在留期間とその最後の日などが書かれています。「在留カード」は、いつももっていなければいけません。「在留カード」を見せるようにいわれたときに見せないと、1年以下のちょうえき けいむしょ または20万円以下の罰金となることがあります。

※在留カードの交付を受けた人は、住むところを定めた日から14日以内に、住んでいる市区町村で住居地の届出(転入届)をする必要があります。

► 在留カードの有効期限

えいじゅうしゃ 永住者	16 歳以上の人	^{はっこう} ひ ねんかん 発行の日から 7 年間
	16 歳未満の人	^{さい たんじょうび} 16 歳の誕生日まで
えいじゅうしゃいがい ひと 永住者以外の人	16 歳以上の人	ざいりゅうきかん まわ ひ 在留期間が終わる日まで
	^{さいみまん} 16 歳未満の人	でいりゅうきかん おわ ひ 在留期間が終わる日まで、または、16 まい たんじょうび 歳の誕生日まで

▶在留カードをなくしたとき

なくしたことがわかった日から 14 日以内に、入管で在留カードの再交付申請を します。



ざいりゅうきかん こうしん 2 在留期間の更新

日本にいるためには、在留期間(日本にいることができる期間)が終わる前に、「更新」の手続きをします。入管からお知らせなどはありませんので気をつけてください。在留期間が終わる3ヶ月前から更新の申請をすることができます。必要な書類は在留資格によってちがいます。

じぶん はいぐうしゃ のうぜいしょうめいしょ こせきとうほん ぜんぶじこうしょうめいしょ みもとほしょうしょ じゅうみんひょう うっ ざいりゅう 自分や配偶者の納税証明書、戸籍謄本 (全部事項証明書)、身元保証書、住民票の写し、パスポート、在留カード、 しゅうかん かげっ 写真などです。許可されるときに 4,000 円を払います。 2週間~1ヵ月かかります。

1. Various Procedures

Procedures for Status of Residence

(Procedures at the Immigration Services Agency)

Status of Residence

"Status of residence" is required for foreign nationals (people without Japanese nationality) to live in Japan. This "status of residence" is generally referred to as a "visa," such as a "work visa" or "spouse visa." There are various types of statuses of residence. It is determined by your "purpose" (the reason you are in Japan).

Residence Card

A resident card will be issued to mid-term to long-term residents when granted permission for residence. In case you didn't receive a resident card when you entered Japan, go to your municipal office with your passport and register your current address. A resident card will be mailed to you at the registered address. On your resident card, your personal information is shown such as your name, date of birth, sex, nationality/region, address, resident status, period of stay and the expiration date. You are obliged to always carry your resident card with you. If you fail to show your resident card upon demand, you could be subject to imprisonment for a year or so or payment of 200,000 yen or less.

※ Once your residence card has been issued, you are required to report your place of residence (notification of moving in) to the municipal office of the city, ward, town, or village where you will live within 14 days of your place of residence being determined.

▶ The valid periods of resident cards vary as shown below.

Permanent residents:	16 years or older	7 years from the date of issuance
residents.	Under 16 years old	Until the 16th birthday
Non-permanent residents:	16 years or older	Until the expiration date of the period of stay
	Under 16 years old	Until the expiration date of the period of stay or the 16th birthday, whichever comes first.



▶ If You Lose Your Residence Card

Apply for reissuance of your residence card at the Immigration Services Agency within 14 days of realizing you have lost it.

2 Renewing Resident Status

To stay in Japan, you need to renew your visas before they expire. Don't expect the Immigration Services Agency to send you an advanced notification. They don't. You can start your visa renewal three months before the expiration date. What you need to submit depends on your statuses, but in general, you need a certificate of your (and your spouse's) tax payment, family registration (total members), a letter of guarantee, a copy of your resident registration, your passport, resident card, a photo, and a fee of 4,000 yen when it is granted. It will take two weeks to a month to get your visa renewed.

ざいりゅうしかく へんこう 全留資格の変更

たんきたいざい べつ しかく にゅうこく たほん ちくてき 短期滞在や別の資格で入国したあと、日本にいる「目的」を変更したいとき、その「目的」にあわせて ざいりゅうしかく いんこうきょかしんせい たいる「自的」を変更したいとき、その「目的」にあわせて ずいりゅうしかく はいくうしゃ へんこうきょかしんせい たいとえば、「介護」の在留資格で働いている人が日本人と結婚をすると、にほんじん はいくうしゃ ざいりゅうしかく へんこう りゅうがくせい しゅうしょく でいりゅうしかく から から がいっ かいで さいりゅうしかく から から がいりゅうしかく はいくうしゃ かいりゅうしかく から がいりゅうしかく から がいりゅうしかく かんこう りゅうがくせい しゅうしょく でいりゅうしかく たこの ないりゅうしかく から がいりゅうしかく へんこう ではいりゅうしかく へんこう でがりゅうしかく へんこう でがりゅうしかく へんこう ないりゅうしかく へんこう ないりゅうしかく ないりゅうしかく へんこう ないりゅうしかく へんこう ないりゅうしかく へんこう まがりゅうしかく もくてき もくてき ないりゅうしかく ないりょうしかく たくてき ないりゅうしかく たくてき ないりゅうしかく たくてき ないりゅうしかくへんこうきょかしんせいしょ いる目的によって、それぞれ「在留資格変更許可申請書」があります。許可されるときに 4,000 円を払います。

えいじゅうきょかしんせい 4 永住許可申請

たいにゅうかん えいじゅうきょかしんせい きょか にほん 入管に「永住許可申請」をして許可されれば、ずっと日本にいることができます。

10年以上日本に住んでいること、など、許可をされるためにはいくつか条件があります。

でっよう しょるい しんせいしょ じゅうみんひょう のうぜいしょうめいしょ ざいりゅう 必要な書類は、申請書、住民票、納税証明書、在留カードなどです。許可されるときに 8,000 円を払います。 7 ねん かい ざいりゅう こうしん ひっょう 年に 1 回は「在留カード」の更新をする必要があります。

ざいりゅうしかく しゅとく こう 方 在留資格の取得 (子どもが生まれたとき)

しかくがいかつどうきょか **6 資格外活動許可**

りゅうがく かぞくたいざい はたら ばんりゅうしかく はたら はんい き ざいりゅうしかく はんいがい しごと 留学、家族滞在など、働くことができない在留資格や働く範囲が決まっている在留資格での範囲外の仕事をして しゅうにゅう ぇ にゅうかん しんせい しかくがいかっとうきょか 収入を得たいときは、入管に申請して資格外活動許可をもらいます。

ではいる。とどけで

っぎ ぱぁぃ じゅうよっかいない にゅうかん とどけで 次のような場合には、14日以内に入管に届出をします。

* **契約機関に関すること**: 転職したとき、退職したとき

* **配偶者に関すること**:離婚したとき、夫が死亡したとき

さいにゅうこくきょか 再入国許可

3 Changing Residence Statuses

If you entered Japan with a short-term visa or with a certain qualification but wish to change the status of residence, you must apply and get permission for a change of residence status. For example, if a person working under the status of residence of "Nursing Care" marries a Japanese national, that person can change the status of residence to "spouse of Japanese national." When a foreign student finds a job, the status of residence must be changed from "Student" to "Engineer/Humanities/International Services" or another status that allows foreign residents to work. Without changing the status, it is illegal to do anything different from the purpose stated in the status of residence. You can go to a nearest immigration office to get this done. They have different application forms according to the purposes of residence.

Applying for Permanent Resident Status

If you apply to the Immigration Services Agency for a permanent residence permit and are approved, you can stay in Japan forever! There are some conditions that must be met in order to be granted permission, such as living in Japan for more than 10 years. What you need: an application form, a copy of your resident registration, your tax payment certificate, resident card and a fee of 8,000 yen when it is granted. Remember, however, you need to renew it every 7 years at an immigration office.

6 Obtaining Status of Residence (for newborns)

If a child born in Japan does not have Japanese citizenship and will continue to stay in Japan beyond 60 days from the date of birth, parents must apply for the baby's status of residence at the Immigration Services Agency within 30 days from the date of birth.

Outside the Scope of your Status of Residence

If you wish to receive an income by working when your status of residence does not allow work (such as student or dependent), or to receive income for work outside of the scope allowed by your status of residence, you must apply to the Immigration Services Agency for permission to engage in activities other than that permitted by your status of residence.

Notification to the Immigration Services Agency

You must notify the Immigration Services Agency within 14 days in the following situations.

- Issues related to your organization of activity: When you change schools or quite school.
- Issues related to your contracts: When you change or quit your job.
- Issues related to your spouse: When you divorce or when your spouse dies.

8 Reentry Permit

If you have a residence card and a valid passport and will return to Japan within a year of departure to another country, you do not need to apply for a re-entry permit. If you will be absent from Japan for one year or more, you must visit the regional Immigration Services Agency before leaving Japan and obtain a re-entry permit. You must take your passport and residence card with you when you apply. The validity period of the re-entry permit will be within the period of time your current visa allows with a maximum of five years (six years for special permanent residents). The fee is 3,000 yen for a single re-entry permit, and 6,000 yen for a multiple re-entry permit.

たいきょきょうせい ざいりゅうとくべつきょか ②退去強制と在留特別許可

っき たいきょきょうせい りゅう 次のようなことは「退去強制」の理由になります。

- * 在留期間を1日でも過ぎると「不法残留」(オーバーステイ)になります。
- しかくがいかっとうきょか う じぶん ざいりゅうしかく みと かっとういがい しゅうにゅう え かっとう ・ 資格外活動許可を受けずに、自分の在留資格で認められた活動以外の収入を得る活動をしてはいけません。
- しかくがいかっとうきょか

 資格外活動許可をもらってアルバイトをしていた留学生が、学校を卒業や退学したあとにアルバイトをすること
 は違法です。留学の在留期間が残っていても違法です。

ざいりゅうとくべつきょか 在留特別許可

でいりゅうしかく 在留資格がなく、オーバーステイになっている人に、退去強制手続きが取られても、法務大臣が特別に日本にいることを認める場合があります。「在特」ともいわれます。例えば、日本人と結婚している、日本人の子をおります。「在特」ともいわれます。例えば、日本人と結婚している、日本人の子をおります。「ないりゅうきょか」といった場合、入管が審査をして、特別に在留許可がもらえる場合があります。入管に行く前に、外国人の相談をうけている NGO などに相談してください。

がいこく かぞく はいぐうしゃ こ りょうしん にほん よ **外国にいる家族(配偶者や子ども、両親)を日本に呼ぶ**

1 親族訪問・観光などで、一時的に呼ぶ場合

たんきたいざい しかく よ にほん にゅうかん ほんごく にほんりょうじかん しんせい 「短期滞在」の資格で呼ぶことができます。日本の入管ではなく、本国の日本領事館に申請をします。

2日本で一緒に住むために呼ぶ場合

▶子どもの呼び寄せ

えいじゅうしゃ ていじゅうしゃ ざいりゅうしかく がいこくじん じぶん くに じぶん こ まえ まっと つま こ にほん よ 永住者や定住者の在留資格の外国人が、自分の国にいる自分の子ども(前の夫や妻の子ども)を日本に呼び、いっしょ す ばぁい こ しんせい 一緒に住みたい場合、子どもがまだ 18 歳になっていなければ、「定住者」のビザを申請することができます。 にほん ほしょうにん にゅうかん ざいりゅうしかくにんていしょうめいしょ しんせい 日本にいる保証人が入管で「在留資格認定証明書」の申請をし、許可がでるとその証明書をもって、外国に にほんりょうじかん にゅうこく ある日本領事館で入国ビザをもらいます。

▶両親の呼びよせ

がいこく まや よ むずか くに まや せ わ ひと かりゅうしかくへんこうきょかしんせい 「特定活動」のビザへ「在留資格変更許可申請」をします。

かぞくたいざい **▶家族滞在**

ではいています。 したどん でいかい しょく まいくらしゃ こ かぞくたいざい しょく まいくらしゃ ・ 人文知識・国際業務」など、仕事の在留資格の人は、配偶者や子どもを「家族滞在」の資格で呼ぶことができます。

9 Deportation and Special Permission for Residence

The following are grounds for deportation.

- Staying even one day longer than the allowed period is illegal (overstay).
- Engaging in any income-generating activities other than those permitted under your status of residence without permission to engage in those activities can be grounds for deportation.
- Working after graduation of quitting school is illegal, even for students how have permission to work part-time while in school, and even if their student visa is still valid.

Special Permission for Residence

The Minister of Justice may grant a status of residence to "overstaying" foreigners even after deportation proceedings have begun. Special permission for residence called zaitoku can be granted to spouses of Japanese nationals, and/or parents of children from Japanese nationals. You may consult about getting zaitoku permission at NGOs that support foreigners before going to Immigration Services Agency.

Inviting Family Members Abroad (spouses, children, parents, etc.) to Japan

• For Short Visits to See Relatives or Go Sightseeing, etc.

You can invite relatives to visit you in Japan as "temporary visitors." They should apply to the Japanese consulate in their home country, not to the Immigration Services Agency in Japan.

Bringing Someone to Live with You in Japan

▶ Visas for Children

Foreigners with a permanent resident visa or resident status visa can apply for a resident status visa for their children under the age of 18, including those from their previous marriage(s) living overseas. Guarantors in Japan must apply for a certificate of eligibility at the Immigration Services Agency in Japan. After you get the certificate, you can get entry visas of your children at Japanese consulates in the foreign countries where your children live.

▶ Visas for Parents

It is difficult for foreigners living in Japan to get long-term visas for their parents to come and live with them in Japan. A "designated activity" visa, however, may be given in some cases, such as when no other person can support the elderly parents, or the parents are over 70 years old. Parents of foreigners in Japan can come to Japan with a short-term visa and then apply for permission to change their resident status to a "designated activity" visa.

▶ Dependents

If you have work status, such as "Engineer/Specialist in Humanities/International Services," you may send for your spouses and children under the status of "dependents."

ざいりゅうしかく そうだん) ビザや在留資格の相談できるところ:

がいこくじんざいりゅうそうごう にゅうかん 外国人在留総合(入管)インフォメーションセンター

電 話: 0570-013904 or 03-5796-7112

うけつけじかん 平日 8:30~17:15 受付時間:

- I J.O.O - I.T.O にほんで えいで ちゅうでくで かんこくで 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、

フィリピノ語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、クメール(カンボジア)語、

ミャンマー語、フランス語、シンハラ語、ウルドゥ語

E-mail での相談 : info-tokyo@i.moj.go.jp(英語、日本語)

https://www.moj.go.jp/isa/consultation/center/japanese.html

がいこくじんざいりゅうしえん 外国人在留支援センター(FRESC /フレスク)

所 在 地 : 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目 6 番 1 号 四谷タワー 13 階

外国人在留支援センター

まるのうちせん なんぼくせんよつやえき (JR、東京メトロ丸ノ内線・南北線四ッ谷駅より徒歩約2分)

平日 9:00 ~ 17:00 受付時間:

・ どにち しゅくじつ ねんまつねんし がっ にち がっ みっか のぞ (土日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)は除く)

でんわばんごう 電話番号: 0570-011000 (ナビダイヤル)

^{あんない} したが にほんご えら まと まと まりに従い日本語の「1」を選んだ後、「5」を押してください。

(注) 一部の IP 電話からは 03-5369-6577 海外からは、(+81) 3-5369-6577

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/otoiawase.html

外国人総合相談支援センター

とうきょうとしんじゅくくかぶきちょう 東京都新宿区歌舞伎町 2-44-1 ハイジア 11 階 所在地:

でんわばんごう 電話番号: **03-3202-5535、03-5155-4039**

うけっけじかん まいしゅうげつ きんようび 受付時間: 毎週月~金曜日9:00~16:00

ちゅうさくさ えいさ げつ きん こ げつ か すい 中国語、英語(月~金)、ポルトガル語(月・火・水)

NGO 神戸外国人救援ネット 生活相談ホットライン

でんわばんごう 電話番号: 078-232-1290

E-mail : gqnet@poppy.ocn.ne.jp

Website: https://gqnet.jp/

相談日: 金曜日13:00~20:00

対応言語: 英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語(植談無料)

所 在 地 : 兵庫県神戸市中央区中山手通 1-28-7

※内容によっては弁護士、行政書士等を紹介できます。メールでも相談できます。







Where You can Consult about Visas and Status of Residence

Information Center of the Immigration Office

TEL: 0570-013904 or 03-5796-7112

Hours: 8:30-17:15 on weekdays

Consultation Language:

Japanese, English, Chinese, Korean, Spanish, Portuguese, Vietnamese, Tagalog (Filipino), Nepali, Indonesian, Thai, Cambodian, Myanmar, Mongolian, French, Sinhala, Urdu

Consultation by Email: info-tokyo@i.moj.go.jp (English or Japanese)

https://www.moj.go.jp/isa/support/consultation/japanese.html

Foreign Residents Support Center (FRESC)

Address: 1-6-1, Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo, 160-0004,

Yotsuya Tower 13th floor

(2 minutes walk from Yotsuya Station of JR,

Tokyo Metro Marunouchi Line or Nanboku Line)

Hours: 9:00-17:00 on weekdays (Excluding the New-Year holidays)

TEL: 0570-011000 (Navi Dial)

Follow the instructions and select "1", then press "5".

(Note) From some IP phones, call 03-5369-6577. From overseas: (+81) 3-5369-6577

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/otoiawase.html

Consultation Support Center for Foreign Residents

Address: 2-44-1, Kabuki-cho, Shinjuku-ku, Tokyo, hygeia 11th floor

TEL: 03-3202-5535, 03-5155-4039

Hours: 9:00-16:00 on weekdays

Consultation Language:

Chinese and English (Monday to Friday), Portugues (Monday, Tuesday, Wednesday), Spanish (Monday, Tuesday, Wednesday), Indonesian (Tuesday), Vietnamese (Monday, Wednesday), Tagalog (Friday)

NGO Network for Foreigners' Assistance Kobe

TEL: 078-232-1290

Email: gqnet@poppy.ocn.ne.jp Website: https://gqnet.jp/

Hours: 13:00-20:00 on every Friday

Consultation Language:

English, Spanish, Portugues, Tagalog (No Consultation Fee required)

Address: 1-28-7, Nakayamatedori, Chuo-ku, Kobe

* We can introduce you to lawyers and administrative scriveners, if necessary. You can also consult in person or by email.







市役所・区役所でする手続き

やくしょ し く ちょう 役所は市や区、町にそれぞれあります。住んでいる人(住民)のために、証明書の発行、「戸籍」や「住民票」 かいこくじん しゃかいほしょう じゅうみん の登録、住民サービスなどをしています。外国人も社会保障や住民サービスを受けることができます。外国人の では、こうさく たの かくしょ かくしょ かくしょ 市民相談があるところや通訳を頼むことができる役所もあります。

こうべし くゃくしょ でんわつうゃくよう けいたいでんわ つか まどぐちたんとうしゃ ちょくせつ はなし 神戸市の区役所では、電話通訳用の携帯電話を使って、窓口担当者と直接お話することができます。

受付日時:月曜日から金曜日(祝日と12月29日~1月3日を除く)

 $9:00 \sim 12:00, 13:00 \sim 17:00$

たいあうげんさ えいさ ちゅうさくさ かんこく ちょうせんさ さ で で アイン語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語、フィリピノ語

じゅうみんとうるく ●住民登録

にほん す ひと やくしょ じゅうみんとうるく がいこくじん かげついじょうにほん す ひと じゅうみんとうるく 日本に住む人は、役所で住民登録をします。 外国人も、6ヶ月以上日本に住む人は、住民登録をします。 がいこくじん にほんじん おな じゅうみんきほんだいちょう とうるく 外国人も日本人と同じように住民基本台帳に登録され、「住民票」がつくられます。一緒に住んでいる人が同じ じゅうみんひょう きさい じゅうみんひょう つうしょうめい つか なまえ か 日本に記載されます。住民票には、「通称名」(いつも使う名前)を書いてもらうこともできます。氏名の「ふりがな」は、日本語読みにするのか、自分の国の読み方にするのかを決めます。市区町村によって、「ふりがな」を きぼう ばいい くうらん 名間 くうらん 名間 といり くっちん ところもあります。

でんきょ てっづ転居の手続き (ひっこし・住むところがかわったとき)

ひっこしをしたときは、住んでいるところの役所へ住所の変更の届出をしてください。(同じ市・町の中でのひっこし でも必要です。)

- ②新しい住所の役所へ「転出証明書」をだします。

※ひっこしから14日以内に届出をしなかった場合、20万円以下の罰金を払うことになります。また、届出をしない期間が90日間をこえると、入管法違反となり、在留資格が取り消されることがあります。

じゅうしょいがい へんこう にゅうかん とどけで ※住所以外の変更は、入管に届出をしてください。

こんいんとどけ 婚姻届

● 日本の婚姻 (結婚) 制度

- * 役所に結婚届を出す(届出婚)だけで結婚ができます。
- どのような方法で結婚式をしてもいいです。結婚式をしなくてもいいです。

2日本人と結婚する場合

* 日本の法律に定められている婚姻(結婚)の「実質的要件」

Procedures at City and Ward Offices

All cities, wards, and towns have public offices. They give services to citizens such as issuing certificates, family registration, and resident registration, etc. Foreign residents can also apply for social welfare and other services. Some offices offer counseling services and interpreter services.

At Kobe City ward office counters, you can use a cell phone available to call intepreters to receive assistance while speaking directly to office staff.

Available Monday through Friday (excluding holidays and Dec 29-Jan 3),

9:00-12:00 and 13:00-17:00

Languages are English, Chinese, Korean, Spanish, Vietnamese, Portuguese, and Filipino

- *Vietnamese is available from 10:00 on Tuesdays, Thursdays, and Fridays.
- *Filipino is available only on Wednesdays.

Resident Registration

Anyone living in Japan must register their residence with the local government office. Foreigners residing in Japan longer than 6 months are also required to have resident registration. Foreign nationals are registered in the same way as Japanese nationals in the Basic Resident Registration System, and a "residence registration" is created. People living together will be listed on the same resident registration. Your common name can be registered, too. You can decide the phonetics for your names; whether in a Japanese way or in your home country's way. Some town offices leave a blank space if you decide to have no phonetics.

When You Move

When you move (even in the same city or town), you must notify the change of address to your old and new ward/city offices:

- ① You must get a "moving-out certificate" from the ward/city office in the city in which you have been living.
- ② Submit the "moving-out certificate" to your new ward/city office and file for moving in within 14 days of your move.
- *If you fail to notify the office within 14 days, a fine of not more than 200,000 yen may be imposed.)
- *If you withhold notification over 90 days, your status of residence may be revoked due to violating the Immigration Control Act.
- *Pease notify the Immigration Bureau of any changes other than address.

Marriage Registration

Japanese Marriage System

- · You can get married just by registrating at your city or ward office.
- You can hold a ceremony any way you like. Ceremonies are not required.

2 Marriage to a Japanese National

You must fulfill the "Substantial Requirements for Marriage" under Japanese Law.

じぶん くに ほうりつ さだ こんいん けっこん じっしつてきょうけん ひっよう
• 自分の国の法律に定められている婚姻(結婚)の「実質的要件」が必要です。 ※「実質的要件」は、結婚するために必要な条件です。

じっしつてきようけん ▶日本の結婚の「実質的要件」

- 18歳以上であること。
- * 配偶者 (夫、妻) のいる人は結婚できません。
- 近親婚でないこと。

はぶん くに けっこん じっしつてきょうけん たいしかん りょうじかん かくにん 自分の国の結婚の実質的要件は、大使館・領事館に確認してください。 でいっしってきょうけん こんいんようけんぐびしょうかしょ はっこう 実質的要件があれば、「婚姻要件具備証明書」を発行してもらえます。

こんいんとどけ ていしゅう ▶婚姻届の提出

にほんじん けっこん にほん こんいんとどけ だ ばあい にほん ほうしき だ 日本人と結婚し、日本で婚姻届を出す場合、日本の方式で出さなければなりません。 日本の方式で結婚する場合、日本の役所に婚姻届を提出します。

▶日本の役所に出す書類

・ 戸籍謄本(本籍地以外に届ける場合)

がいこくじん 外国人

- こんいんようけんぐびしょうめいしょ にほん こ やくぶん たいしかん りょうじかん はっこう けっこん しょうめい ・ 婚姻要件具備証明書とその日本語の訳文 (大使館や領事館が発行した結婚ができることを証明するもの)
- ** 国籍を証明するものとその日本語の訳文 (パスポート、国籍が書いてある出生 証 明書など)
- しゅっせいしょうめいしょ
 にほんご やくぶん こんいんとどけ きにゅう ふ ぼ しめい かくにん ひっよう

 ・出生証明書とその日本語の訳文 (婚姻届に記入する父母の氏名の確認などに必要)
- しんじゅつしょせんせいぎょうじゅつしょ にほん こ やくぶん こんいんようけんぐびしょうめいしょ はっこう くに ばあい 申述書や宣誓供述書とその日本語の訳文(婚姻要件具備証明書を発行していない国の場合)

※誰が翻訳してもよいです。

▶ 結婚したことの証明

- □ 日本人と結婚すると、その日本人の戸籍に結婚したことが記載されます。
- •「受理証明書 (Certificate of Acceptance)」と「届書の写し(届書記載事項証明書)Official copy ofthe marriage notification」を発行してもらいます。

▶本国(自分の国)への届出

ざいにちたい しかん りょうじかん とどけで おこな ひつよう ほんごく けっこんとうろく 本国でも結婚登録をするには、本国の在日大使館・領事館に届出を行う必要があります。日本の方式で結婚し しょうめいしょ こんいんとどけ じゅりしょうめいしょ ていしゅっ ほうこく てっづきほうほう ひっょうしょるい たいしかん りょうじかんたという証明書 (婚姻届の受理証明書など)を提出します。報告の手続方法や必要書類は、大使館・領事館に 聞いてください。

▶ 外国の方式で結婚した場合

こんいんせいりっ ひ かげっいない こんいん かん しょうしょ とうほん こんいんしょうめいしょ にほん やくしょ こんいんとどけ 婚姻成立の日から 3 ケ月以内に、婚姻に関する証書の謄本(婚姻証明書)をつけて、日本の役所に婚姻届を 提出してください。

- You must fulfill legal requirements for marriage in the country of your nationality.
 - * "Substantial requirements" refers to the conditions required by law to be eligible for marriage.

"Substantial Requirements" for Marriage in Japan

- Must be at least 18 years of age.
- A person who already has a spouse (husband or wife) is not allowed to marry.
- The marriage must not be consanguineous (between immediate and close relatives).

Check with your embassy or consulate for the substantive requirements for marriage in your country. If the substantive requirements are met, you can have a "Certificate of Legal Capacity to Marry" issued.

▶ Submission of Marriage Registration

If you are getting married to a Japanese national and wish to register your marriage in Japan, you must do so in accordance with the Japanese system. If you wish to get married according to the Japanese system, you must submit the marriage notification to the your local municipal office in Japan.

▶ Documents to be Submitted to the Japanese Municipal Office

- Marriage registration form (available at the city office) (signed by two adult witnesses)
- Official ID of the person submitting the notification (My Number Card, driver's license, passport, residence card, etc.)

Japanese Nationals

 A copy of the family register (if applying in a region different from the permanent legal address)

Foreign Nationals

- Certificate of Legal Capacity to Contract Marriage (issued by an embassy or consulate certifying legal capacity to contract marriage) and a Japanese translation. Anyone is allowed to translate it.
- Proof of nationality and its Japanese translation (passport, birth certificate with nationality written on it, etc.)
- Birth certificate and its Japanese translation (necessary to confirm the names of the parents on the marriage certificate.)
- A statement or affidavit and its Japanese translation (for countries that do not issue a certificate of legal capacity to contract marriage)

▶ Proof of Marriage

- When you get married to a Japanese national, your marriage will be recorded in the family register of the Japanese national.
- You will have a "Certificate of Acceptance" and "Official Copy of the Marriage Notification" issued.

▶ Notification to Your Country of Nationality

To register your marriage in your home country as well, you must file a notification with your embassy or consulate. A certificate of marriage according to the Japanese system (e.g., certificate of acceptance of marriage registration) must be submitted. Please ask you embassy or consulate about the reporting procedure and required documents.

▶ In Case of Marriage According to a Foreign Country's Customs

Within three months from the date of marriage, you must submit a marriage notification to the Japanese municipal office with a certified copy of the deed of marriage (marriage certificate).

とどけで ひつよう だいひょうれい か き 届出に必要なものの代表例は下記のとおりです

- 婚姻届書
- 日本人の戸籍謄本(本籍地以外に届けるとき)

• 婚姻証明書 (Marriage Certificate) (婚姻が成立した国で発行されたもの) と日本語の訳文

- 国籍証明書(Certificate of Nationalityと日本語の訳文(国籍証明書は有効期限内のパスポート(Passport) でもいいです)

こんいん ご ざいりゅうしかく しゅとく へんこう ぱぁぃ **《 婚姻後、在留資格の取得や変更をする場合 →8ページ》**

がいこくじんどうし こくじん さくじん けっこん 分国人同士(A国人とB国人)で結婚するとき

- A 国の法律に定められている婚姻の実質的要件

• B国の法律に定められている婚姻の実質的要件 が必要です。

にほん す がいこくじんどうし にほん やくしょ とどけで こんいん しゅっしんこく ていしゅっ しょるい 日本に住んでいる外国人同士も、日本の役所に届出をして婚姻することができます。出身国によって提出する書類 がちがう場合があるので、役所に必要な書類を確認してください。

《に ひとどうし にほん けっこん ばぁぃ じこく たいしかん りょうじかん じこく ほうしき こんいんてって ※同じ国の人同士が日本で結婚をする場合は、自国の大使館・領事館で自国の方式で婚姻手続きができます。 大使館・領事館に問い合わせをしてください。

▶ 結婚したことの証明

外国人同士の場合は、婚姻届が受理されても戸籍はつくられません。
じゅりしょうめいしょ
「受理証明書(Certificate of Acceptance)」と「届書の写し(届書記載事項証明書)Official copy of the marriage notification」を発行してもらいます。

ほんごく ▶本国への届出

でんいんとどけじゅりしょうめいしょ くに ざいにちたいしかん りょうじかん じきん こんいん ほうこくてきとどけで おこな 婚姻届受理証明書をそれぞれの国の在日大使館・領事館に持参し、婚姻の報告的届出を行ってください。

こんいん ご ざいりゅうしかく しゅとく へんこう《婚姻後、在留資格の取得や変更をする場合→8ページ》

にほん かぞくとうろく こせき **日本の家族登録・戸籍**

日本には親と、結婚していない子どもが登録される「戸籍」があります。「戸籍」には、出生、結婚、離婚、 で はあい ようし ちもおや じぶん で みと ばあい にんち か で させき 子どもをもらう場合 (養子)、父親が自分の子どもとして認める場合 (認知) などが書いてあります。戸籍は るでない場合もあります。子どもが結婚したら新しい家族の戸籍をつくり、その子どもが生まれると、子ども 55 はは なまえ う ひ ひと母の名前、生まれた日などがそこに書かれます。

がいこくじん こせき なまえ **外国人と戸籍と名前**

結婚すると、日本人の戸籍は親の戸籍からはなれて新しい戸籍がつくられます。外国人が日本人と結婚すると、 日本人の妻または夫の戸籍に、結婚した外国人の名前と国籍などが書かれます。外国人には、戸籍は作られ ません。国際結婚の場合、日本人の結婚後の姓(氏、名字)はかわりません。しかし、日本は一つの家族にせい はあいます。 はいている はまい はい はまい はい はまい はい はまい こんいんとどり だ また 姓が一つの「夫婦同姓制度」なので、日本人の夫または妻が外国姓にしたい場合は、婚姻届を出した後6 かげっ あいだ やくしょ し ヘルこうとどけ だ がいこくじん おっと つま せい ケ月の間に、役所に「氏の変更届」を出せば、外国人の夫または妻の姓にすることができます。

Typical examples of what is required for notification are as follows

- Marriage registration form
- A copy of the family register of the Japanese national (if notifying in a region other than the permanent legal address)
- Marriage Certificate (issued in the country where the marriage took place) and its Japanese translation
- Certificate of Nationality and Japanese translation (a valid passport is also acceptable)
- · Applicant's official identification (My number card, driver's license, passport, residence card, etc.)

《 In case of obtaining or changing status of residence after marriage, see page 9. 》

Marriage between Foreign Nationals from Different Countries (Country A and Country B)

The substantive requirements for marriage as stipulated by the laws of Country A and the substantial requirements for marriage as stipulated by the laws of country B must be met.

Foreign nationals residing in Japan can marry each other by submitting a notification to the Japanese municipal office. Required documents may differ depending on your country of origin, so please check with your local government office for the necessary documents.

Two people from the same country wanting to marry in Japan can marry according to the procedures of their own country at their embassy or consulate. For details, contact your embassy or consulate.

▶ Proof of Marriage

A Japanese family register is not created for foreign couples, even if the marriage registration is accepted. You will be issued a "Certificate of Acceptance" and an official copy of the marriage notification.

▶ Notification to Your Home Country

Please take the Certificate of Acceptance to your embassy or consulate to report your marriage.

《 For information on obtaining or changing status of residence after marriage, see page 9. 》

Family Registration or Koseki

Japan has a family registration system called koseki which registers every family's history. The information on family members (parents and unmarried children) and their relationship is registered, such as birth, marriage, divorce, adoption, and acknowledgment of childbirth. Koseki, thus, can prove one's relationship and Japanese nationality. One's permanent address is usually handed down from a few generations back, and may be different from one's current residential address. When children get married, they start their own new family registration and the births of children are to be added with their parents' names and birthdates.

Foreigners, Family Registration and Names

When a Japanese person gets married, a new family separate from his/her parents is registered in Koseki. When a foreigner marries a Japanese, his/her name is not registered among the family members although the marriage fact is recorded. Neither of their family names is going to be changed. However, the Japanese law requires married couples share a same family name. Therefore, it's possible to change one's family name to his/her spouse's name if one submits a notice of a change in one's family name within 6 months of marriage registration at a city/ward office.

・ 出生届

でである。 はは にほんじん ばあい ・ ともの父か母が日本人の場合

にほん う こ こ ちち はは 日本で生まれた子どもは、住んでいるところの役所の「戸籍係」に「出生届」をだします。子どもの父か母が にほんじん けっこん にほんじん おや こせき か にほんごくせき しゅっせいとどけ 日本人で、結婚している場合、子どもは日本人の親の戸籍に書かれて、日本国籍になります。「出生証明書」、「出生届」、「出生届」、「母子手帳」がいります。「出生証明書」と「出生届」は子どもが生まれた病院でもらいます。「出生届」に父母の ひと とど なまえ がいこくめい かんかん おもいまか ひと とど なまえ がいこくめい かんりん アンシラき 書名(サイン)と印鑑(はんこ)があれば代わりの人が届けることもできます。名前は外国名のカタカナ表記もできます。「出生届」に書いた名前が戸籍にのります。出生届は生まれてから14日までに役所にだします。

まち はは がいこくじん ばぁぃ ②父も母も外国人の場合

両方の親が外国人の場合、日本で生まれても日本国籍がありません。子どもが生まれてから 14 日以内に、住んでいるところの役所に「出生届」を出します。役所が子どもの「住民票」を作ります。その「住民票」を入管にもっていき、「在留資格」の申請をします(生まれてから 30 日以内)。入管が子どもの「在留カード」を作ります。 20 でいきかん 20 ではは 20 できたら、父または母が入管に取りに行きます。子どもの国籍は、父または母の国の大使館か領事館に「出生届」をだして手続きします。

るくごううじ ミドルネームや複合氏について

日本には「ミドルネーム」がありません。戸籍の姓(氏)は、そのままで、子どもの名前にミドルネームをつけることはできます。たとえば、ミドルネームが「スミス」であれば、名前を「スミス、花子」とし、姓をでまた「山田」とすれば、「山田スミス、花子」のように、ミドルネームをつけることができます。父と母の姓をあわせた「複合氏」も、戸籍の名前の届出のときに外国の名前を入れると、父母の姓と自分の名前をならべることができます。

にほんじん ちち はは こ がいこく う ばあい う くに にほんりょうじかん さんかげついない しゅっせいとどけ 日本人の父または母の子どもが外国で生まれた場合、生まれた国の日本領事館に3ヶ月以内に「出生届」と こくせきりゅうほとどけ 「国籍留保届」をだします。そうすれば日本の戸籍にのり、日本国籍になります。この届けをしないと、日本 こくせき 国籍がなくなります。

「国籍留保届」をしなかった場合、その子どもが18歳未満で来日し、日本に住んでいれば、法務局に届けるにほんこくせきといった場合、その子どもが18歳未満で来日し、日本に住んでいれば、法務局に届けるでは、はほんこくせきといった。この手続きのお手伝いをしている相談機関に連絡して相談してください。

(30ページ)

りこんとどけ 離婚届

きょうぎりこん とどけで協議離婚の届出

かったん ほうほう くに ちが はない はまい はまい はない かくしょ りこんとどけ だ 離婚の方法は、国によって違います。日本の場合は、お互いが話しあって、役所に離婚届を出すだけの「協議 りこん 離婚」ができます。

二人の意見がちがうときは、家庭裁判所にいって「調停離婚」あるいは「審判離婚」をします。それでも離婚できなかった場合、一般の裁判所での「裁判離婚」になります。

Birth Registration

In Case a Child's Father or Mother is Japanese:

In case of a child born to a Japanese man/woman, the child obtains a Japanese nationality and its birth is registered in the Japanese parent's *koseki*, or family registration. It is necessary to present a birth certificate, birth registration, and a maternity notebook. Birth certificates and birth registration forms are given at the maternity hospitals. A proxy can submit a birth registration form with a child's parents' signatures. Foreign names can be registered in katakana letters. Names registered in birth registration will be registered in the *koseki*. Notification of birth must be submitted to a city/ward office wihin 14 days after a child's birth.

② In Case Both Parents are Foreigners:

In case both parents are foreigners, their children cannot acquire Japanese nationality even if the child is born in Japan. Foreign parents must report their child's birth at the city/ward office within 14 days after the child's birth. The office will make the child's resident card. Take the resident card to the local Immigration Services Agency and apply for the child's status of residence (visa) within 30 days after the child's birth. The immigration office will make the child's resident card, which a parent must go to the office and receive. Regarding the child's nationality, it is required to visit the embassy or consular office concerned and report the child's birth.

Middle Names and Compound Names

In Japan, middle names do not exist. However, it is possible to include a middle name in a family registration. For example, if a child has a middle name, "Smith," it can be incorporated into the personal name as "Hanako Smith." If the family name is Yamada, the whole name will be "YAMADA Hanako Smith." As shown in this example, foreigners can include their family names in their children's Japanese birth registration.

When a Japanese man/woman has a baby abroad, he/she must register the child's birth at a Japanese consulate overseas within three months after birth and submit a nationality preservation application at the same time. The child may lose his/her Japanese nationality otherwise.

If a "nationality preservation application" has not been submitted and if the child resides in Japan and is under 18 years of age, he/she can regain Japanese nationality by notifying the Bureau of Legal Affairs. Consult appropriate institutions for further information of the procedures.

(See page 31)

Divorce Notification

Divorce by Agreement

Divorce procedures are different depending on countries. In Japan, a couple can get divorced by both party's agreement and submitting a divorce file with their signatures to a city/ward office. If agreement cannot be reached, they can take it to a family court and obtain a divorce by arbitration or judgment. If they still can't agree, they can take it to a district court and proceed for a judicial divorce.

● 協議離婚に必要な書類

- ・ 離婚届書 (証人として成人 2 人の署名、押印があるもの)
- りこん ふさい あいた みせいねん ※離婚する夫妻の間に未成年の子がいる場合は、夫妻のどちらかを親権者にきめてください。(共同親権を trice control of the control of th
- をどけでにん ほんにんかくにん からじゃしんうき こうてき しょうめいしょ うんてんめんきょしょう
 届出人の本人確認できる顔写真付の公的な証明書(マイナンバーカード、運転免許証、パスポート、在留カー
- せきとうほん ほんせきちいがい • 戸籍謄本(本籍地以外に届ける場合)

がいこくせき かたどうし ばぁぃ 《外国籍の方同士の場合》

- 婚姻の事実が確認できるもの。(婚姻時に日本で届出をした方は、受理証明書、婚姻が外国で成立した方は 婚姻証明書等)

ほんごく ゆうこうせい ▶本国での有効性

にほん せいりつ りこん ほんごく ゆうこう かぎ 日本で成立した離婚が本国で有効であるとは限りません。在日大使館・総領事館に問い合わせてください。

かって りこんとどけ ていしゅつ しんぱい ▶勝手に離婚届が提出されることが心配な場合

まいて にほんじん かって りこんとどけ しくちょうそん ていしゅつ しんぱい ぱあい おいて相手 (日本人)が勝手に離婚届を市区町村に提出してしまうことが心配な場合は、相手 (日本人) の本籍地またはあなたの住所地の市区町村に行き離婚届の不受理申出書を提出し ておくことにより、離婚の成立を防ぐことができます。



離婚アラート https://atoms9.wixsite.com/rikon-alert/english

親権と慰謝料について

 n こん 離婚をすると、子どもは父と母のどちらが育てるか、「養育費」(子どもを育てるためのお金)や「財産分与」(お るかは、話し合い、調停、裁判で決めます。最近は、母親が育て、父親が子どもの「養育費」を支払う 場合が多いです。「財産分与」「慰謝料」は、父と母の経済力、どうして離婚することになったのかによって、 どのくらいお金を払うかがちがいます。これらには「時効」があり、「財産分与」は離婚したあと2年、 「慰謝料」は、離婚する原因・行為があってからまたはそのことを知ってから3年あとになると請求することが できなくなります。

しぼうとどけ

◉ 死亡届

- 親族、同居人などが、死亡の届出をしなければなりません。
- この届出は、死亡の事実を知った日から7円以内にする必要があります。
- この届出は、死亡した場所か、届出人の所在地にある市区町村に提出してください。
- 必要なもの: 死亡診断書または死体検案書
- その他必要となるものは、届出をする市区町村に聞いてください。
- ・ 死亡した外国人の在留カードは、14日以内に入管に返してください。近くの入管に持っていく、または次の 住所に郵便で送ってください。

〒135-0064 東京都江東区青梅 2-7-11 東京港湾合同庁舎9階 とうきょうしゅつにゅうこくざいりゅうかんりきょく ぶんしつ ふうとう おもて ざいりゅう へんのう か東京出入国在留管理局おだいば分室(封筒の表に「在留力ード返納」と書いてください。)

▶ Documents Required for Divorce by Agreement

- Divorce notification form (signed and sealed by two adults as witnesses.)
- *If the divorcing couple has children who are minors, one of the spouses should be designated as the custodian. (In the case of two nationals whose nationality enables joint custody, it is not necessary to stipulate custody.)
- An official identification document with a photo that can verify the identity of the applicant (My number card, driver's license, passport, residence card, etc.)
- A copy of the family register (in the case of submission to a place other than the place of permanent legal residence).

<In Cases of Marriage Between Foreign Nationals>

- · Certificate of residence showing nationality, status of residence, period of stay, etc.
- Certificate of marriage (for those who registered in Japan at the time of marriage, a certificate of acceptance; for those who married in a foreign country, a marriage certificate, etc.)

▶ Validity in Your Home Country

Divorces granted in Japan are not necessarily valid in your home country. Please contact your embassy or consulate.

► Concerned about Divorce Being Filed without Your Concent?

If you are married to a Japanese national and are concerned that your spouse might submit a divorce notification to the municipal office without your consent, it is possible to prevent the divorce from being finalized. You must go in advance to the municipal office of your spouse's legal residence or to the municipal office where you live and sumit a written request for non-acceptance of the divorce notification.

For more information, see Divorce Alert

https://atoms9.wixsite.com/rikon-alert/english

Child Custody and Alimony

After divorce, a couple has to deal with such issues as child custody, child support, and property distribution. In Japan, many couples solve these issues by discussion, arbitration, and law suits. More and more mothers get child custody recently and fathers usually pay for child support. Property distribution and consolation fees depend largely on the couple's economic ability and the causes of the divorce. Due to the statute of liminations, you must claim property distribution within 2 years and consolation fee within 3 years after the causes of divorce take place or become known to you.

Death Notification

- A person's death must be reported by a relative, a person living with the deceased, or someone else.
- This notification must be made within 7 days of the date the death becomes known.
- This notification should be submitted to the municipal office of the city, ward, town or village where the person died or of the notifier's residence.
- Necessary items: Death certificate or autopsy report.
 Please inquire at the municipal office where the notification is to be submitted for any other necessary documents.
- A deceased foreigner's residence card must be returned to the Immigration Services Agency within 14 days.
 Take it to the nearest Immigration Services Agency office or send it by mail to the following address:
 Tokyo Immigration Services Agency, Odaiba Branch, Tokyo Port Joint Government Building, 9th Floor,
 2-7-11 Oume, Koto-ku, Tokyo 135-0064, Japan

(Please write "Return of Residence Card" on the front of the envelope.)

●マイナンバー制度について

マイナンバーカード総合サイト https://www.kojinbango-card.go.jp/

●個人番号(マイナンバー)



では、しゃかいほしょう けんこうほけん ねんきん ぜいきん さいがい たいさく つか ばんごう 日本に住んでいる人の社会保障 (健康保険や年金)、税金、災害の対策に使う番号です。ひとりひとり、みんな違ばんごう はたら かいじゃ ぜいきん てっづ やくしょ ぜいむしょ てっづ ぎんこう かいがい かね う番号です。働いている会社での税金の手続き、役所・税務署の手続き、銀行から海外にお金をおくるときなどに、マイナンバーがいります。

②マイナンバーの「通知カード」と「個人番号カード」

がいこくじん にほん はじ やくしょ じゅうみんとうるく 外国人は、日本に来て、初めて役所で住民登録をすると、12 ケタのマイナンバー しゅうかん やくしょ じゅうみんひょう じゅうしょ ゆうびん とど がきまります。2~3週間くらいで、役所から、住民票の住所に郵便が届きます。 こじんばんごう もうしこみしょ はい 封筒の中には、「通知カード」と、「個人番号カード」の申込書が入っています。

つうち かみ しゃしん ゆうこうきげん 「通知カード」: 紙、写真なし、有効期限なし

あなたのマイナンバーを知らせるカードです。







「個人番号カード」: プラスチック、写真あり、有効期限あり

ほしい人は申込をしてつくることができます。 1ヵ月くらいかかります。

このカードでコンビニで住民票などを取ることができます。有効期限は、20歳以上の人は、10回目の誕生日まで、はたちみまん ひと かいめ たんじょうび 20歳未満の人は、5回目の誕生日までです。





❸カードをなくしたとき

マイナンバーは、他の人にすぐにおしえてはいけません。もし「通知カード」や「個人番号カード」をなくしたときは、

はいさつ こうばん やくしょ し
すぐに警察(交番)と役所に知らせてください。

「個人番号カード」をなくしたり、盗まれたりしたときは、すぐに電話をしてください。英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語で話ができます。24時間365日、受け付けてくれます。

My Number System

For official information on "My Number Card," go to:

https://www.kojinbango-card.go.jp/

Individual Number (My Number)



Individual number is the number given to individual residents in Japan for the purposes of social welfare (such as helath insurance and pension), tax, and disaster prevention. Each individual has his/her own number, different from others. You have to tell your "My Number" when you file a tax form at the company where you are employed, when you submit paperwork at the city/ward office and when you send money to overseas from a bank.

2 My Number Notification Card and Individual Number Card

When foreigners register their addresses at municipal offices for the first time in Japan, they are given a 12-digit number. A letter will be sent to your registered address from the office in about a few weeks. In the envelope, you will find a notification card of your individual number and an application form for Individual Number Card.

"Notification Card": paper, no photo, no expiration date It is a card to notify you of your "My Number."







"Individual Number Card": plastic, with a photo and an expiration date

If you want to have your Individual Number Card made, apply for one. It will take about a month. One of the advantages of having this card is you can get an official certificate of your residence at a convenience store. The card is valid until the owner's 10th birthday following card issuance, for those above the age of 20. For those below the age of 20, it's valid until the owner's 5th birthday following the card issuance.





What if You Lost Your "Individual Number Card"?

You shouldn't let "My Number" be known by other people. If you lose your Notification Card or Individual Number Card, report to the police and the city office as soon as you can. If you lose your Individual Number Card or get it stolen, call immediately. English, Chinese, Korean, Spanish and Portuguese languages are available. They will respond 24-hours 365 days a year.

がいこくごたいおう 外国語対応

TEL: 0120-0178-27

TEL: 0570-064-738 ※上記番号がつながらない場合(有料)

たいおうげんで うけつけじかん <対応言語と受付時間>

ぇぃ さゅうごくご かんこくご ご ご ご じかん 英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語 ▶ 24 時間※

タイ語、ネパール語、インドネシア語 ▶ 9:00 ~ 18:00

ベトナム語、タガログ語 ▶ 10:00 ~ 19:00

※ 20:00 〜翌 9:29 はマイナンバーカード及び電子証明書を搭載したスマートフォンの紛失・盗難などによる一時利用停止のみの受付となります。

●マイナンバー制度、マイナポータルに関すること

TEL: 0120-0178-26

< 受付時間 > 平日 9:30 ~ 20:00 土日祝 9:30 ~ 17:30 (年末年始除く)

●マイナポイントに関すること

0570-028-125

うけつけじかん **<受付時間>** 9:30 ~ 20:00

たいおうげんで えいで ちゅうごくご かんこくご ご く対応言語> 英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語

● いろいろな証明

いんかん いんかんしょうめい 印鑑、印鑑証明

日本では印鑑(はんこ)をサインの代わりにつかいます。役所で印鑑を登録すれば、その印鑑があなたのものにまちが にないという「印鑑登録証(カード)」を作ってくれます。登録した印鑑(「実印」といいます)や「印鑑登録 によう は、家を借りたり、契約をしたりするときにいることがあります。住んでいるところの役所に、登録する印鑑と でいりゅう も いんかんとうるくしょう カード)」を作ってくれます。 印鑑の名前は住民登録の氏名でつくらな いといけません。

Multilingual Support:

■ To temporarily suspend use of your personal number notification, notification card, My Number Card, or smart phone with My Number Card and electronic certificate due to theft of loss, call the following number.

TEL: 0120-0178-27 (toll free)

TEL: 0570-064-738 (use this number if you cannot connect to the toll free number. Fees apply.)

Hours and Languages:

24 hours for English, Chinese, Korean, Spanish and Portugese* 9:00-18:00 for Thai, Nepalese, Indonesian 10:00-19:00 for Vietnamese and Tagalog

*From 20:00 to 9:29 the following day, only urgent calls for temporary suspension of use due to loss or theft of a My Number Card or a smartphone with an electronic certificate will be accepted.

For issues related to the My Number System and My Portal

TEL: 0120-0178-26

Hours: Weekdays 9:30-20:00;

Weekends and holidays 9:30-17:30

(except year-end and New Year holidays).

Languages: English, Chinese, Korean, Spanish, Portuguese,

Vietnamese, Thai, Indonesian, Tagalog, Nepalese

● For issues related to My Number Point System

TEL: 0570-028-125

Hours: 9:30-20:00

Languages: English, Chinese, Korean, Spanish, Portuguese

Certificate issued at City/Ward Offices

Seal for Signing (hanko)

In Japan, people use seals instead of signatures. You can register your seal at a ward office and get your seal registration certificate issued. When you rent a house and/or make a contract, the certificate may be required. Take your personal seal and your resident card to a city office to get one. The name of the seal should be the same as the name registered in your resident card.

じゅうみんひょう **2 住 民** 票

じゅうみん しょうめいしょ しめい せいべつ せいねんがっぴ じゅうしょ しょうめい じゅうみんとうるく やくしょ だ 住民であることの証明書で、氏名・性別・生年月日・住所を証明します。住民登録をしている役所で出してもらい かぞく いちぶ しょうめい じゅうみんひょう ます。一緒に住んでいる家族(世帯)全員の証明または家族の一部だけの証明をもらうことができます。住民票が がいこくじんかぞく いる ときは、外国人家族でもかわりに(代理で)取りに行くことができます。

でせきとうほん こせきしょうほん ③ 戸籍謄本と戸籍抄本

ア籍登録がされているところ(本籍地)で、戸籍に書かれていることの証明書をもらうことができます。戸籍は結婚の証明書にもなります。証明書は2種類あります。家族ぜんぶのことが書かれたのが「戸籍謄本」で、一人だけのことが書かれたものが「戸籍抄本」です。どちらでも登録している役所で発行してもらえます。戸籍の証明書をもらうには、戸籍がある役所がどこにあるか、戸籍(家族)の名前(筆頭者)がだれか、知らなければなりません。かります。たます。 かきりの名前のところには書かれませんが、日本人と結婚したことや、日本人の子どもが生まれたこと、にはたり、「三世書」かれています。日本人と結婚した人は、結婚の証明になるので、戸籍謄本をもっておきましょう。認知などが戸籍に書かれています。日本人と結婚した人は、結婚の証明になるので、戸籍謄本をもっておきましょう。こせき、なまえ、「日本人と結婚した人は、結婚の証明になるので、戸籍謄本をもっておきましょう。こせき、なまえ、「日本人と結婚した人は、結婚の証明になるので、戸籍謄本をもっておきましょう。」に関わています。日本人と結婚した人は、結婚の証明になるので、戸籍謄本をもっておきましょう。「一日本人の子どもが生まれたこと、「日本人と結婚した人は、結婚の証明になるので、戸籍

zくせき **国籍の手続き**

■ 国籍を決める法律(国籍法)について

う くに こくせき え しゅっしょうちしゅぎ 生まれた国の国籍を得る「出生地主義」

生まれた場所(国)が、その子どもの国になり、法律でそこの国籍を持ちます。アメリカ、カナダ、ブラジルなどやニュージーランド、オーストラリア、そして一部のヨーロッパが出生地主義の法律を持つ国です。親がにほんじん にっけいじん う ひと こくせき 日本人の「日系人」でブラジルで生まれた人は、ブラジル国籍、アメリカであれば、アメリカ国籍になります。

まや こくせき こ ひ っ けっとうしゅぎ 親の国籍を子どもが引き継ぐ「血統主義」

なり、はは、も、 こくせき、ひ、つ、 ちち、はは、くに、こ くに なり、それ こくせき こ こくせき 父や母が持っている国籍を引き継いで、父や母の国が子どもの国になり、親の国籍が子どもの国籍になります。 ちゅうきんとう トリッとうしゅぎ 中国、韓国、インド、インドネシア、フィリピンなど多くのアジア、中近東、アフリカなどの国が血統主義のほうりつ 法律をもっています。

2 Certificate of Resident Registration

The certificate of resident registration is issued in ward offices. It shows names, gender, birth dates and addresses. It may contain information of all or a portion of the family that lives together. A person can use a proxy in applying for a copy of the resident registration.

Certification of One's Family Registration and Its Extract

You can get certificates of your family registration at your permanent address called honseki-chi. The family registration called koseki can certify your marriages or divorces. There are two types of certification: koseki-tohon which has all the family information registered in one's permanent address and koseki-shohon which has extracted information of an individual registration. You can get either certificate at the office where your family is registered. In order to get either, you need to know where the office is, and family name, and the family head's name. Foreigners' names are not added to koseki, but their marriages to Japanese nationals, child births, and child acknowledgement are recorded. Foreigners are recommended to get their spouse's koseki tohon certificate after they get married. Members of the registered family can obtain a koseki tohon certificate.

Japanese Nationality and Nationality Selection System

The Japanese Law Concerning Nationality Selection (Nationality Act)

Most people in the world have a nationality. Which nationality you have depends on the conditions stipulated in countries' nationality laws. Having a nationality means you are recognized as a citizen of the nation and as a member of the national structure. Citizens must abide by the nation's decisions (laws and rules). Nations must guarantee citizens' rights. Having a nationality is very important in the relationships among nations. Nations issue passports, which are necessary for its citizens in foreign countries, and the nation is obligated to protect its citizens in foreign countries.

Birthplace Principle – the principle to give a nationality based on the country in which a person is born.

According to this principle, children born in a certain country are recognized as potential citizens of the country and should obtain the country's nationality according to the law. Countries such as the U.S.A., Brazil, Canada, New Zealand, Australia and some EU countries follow this principle. If a Japanese parent gives birth to a child in Brazil or in the U.S., the child can acquire Brazilian or U.S. nationality.

Note: If non-Japanese parents have a child born in Japan, the child won't be able to obtain Japanese citizenship because Japan does not follow the birthplace principle.

Blood Lineage Principle – the principle to give a child its parent's nationality

In countries following this principle, a child becomes a citizen of the parents' country and inherits their parents' nationality. Many Asian countries, such as China, Korea, India, Indonesia, and the Philippines, Middle Eastern countries and also some African countries follow this principle.

にほん こくせきほう **日本の国籍法**

すち はは にほんこくせき ばぁぃ **① 父また母が日本国籍の場合**

日本は、血統主義の法律を採用しているので、父または母が日本国籍であればその子どもは日本国籍になります。
りょうしん けっこん
生まれたとき両親が結婚していれば、その子どもは日本国籍になります。結婚していない場合は、子どもは日本人
の親に認知されていなければなりません。

②認知による国籍取得

認知には、生まれる前に父が認知する「胎児認知」と生まれてからの認知があります。胎児認知の場合、子どもが生まれたときに父が日本人であることが明らかなので、子の出生届をだすと子どもは父の戸籍に書かれてにほんこくせき日本国籍となります。

にほんじん こ がいこく う ばぁぃ にほんこくせき と 日本人の子どもが外国で生まれた場合でも日本国籍を取れますが、生まれてから3ヶ月以内に日本(領事館)に しゅっせいとどけ こくせき りゅうほとどけ 出生届と「国籍の留保届」をしなければ、日本国籍がなくなります。日系ブラジル人や日系フィリピン人、JFC にほんじん しん りょうしん も こ にほんこくせき (日本人とフィリピン人の両親を持つ子ども) に日本国籍がないのは、届けなかったからです。

^{そうだん} 相談するところ

JFCネットワーク

JFC (Japanese Filipino Children) を支援する団体です。

TEL: **03-6276-1522**

E-mai: jfcnet@jca.apc.org

フィリピンのマニラに支所、「マリガヤハウス」があります。

Manila Branch (Maligaya House)

Metro Manila, Philippines TEL/FAX: (63-2) 913-8913

E-mail: maligayahouse@gmail.com



Japanese Nationality Law

When a Parent has Japanese Nationality

As the Japanese government has adopted the blood lineage principle, a child can be a Japanese national if a mother or a father has Japanese nationality. If the parents are legally married, their child will have Japanese nationality. If the parents are not married and the father is Japanese, the father must recognize the child as his for the child to receive Japanese citizenship.

Acquisition of Nationality by Recognition

There are two types of recognition: recognition by the father before birth (fetal recognition) and recognition after birth. In the case of fetal recognition, it is clear that the father is Japanese when the child is born, so when the child's birth notification is submitted, the child is entered in the father's family register and becomes a Japanese citizen.

Under the Nationality Law until 2008, children whose parents were not married could not become Japanese nationals even if they were acknowledged by their Japanese father after birth, but a lawsuit was filed and the Supreme Court ruled in 2008 that the law was unconstitutional and The Nationality Law was amended on December 12, 2008 (effective January 1, 2009). Even if the parents are not married, if the child is acknowledged by the father, it is possible for the child to acquire Japanese nationality. By submitting a notification to the Legal Affairs Bureau or a Japanese consulate overseas by the age of 18, the child will be registered in the father's family register and acquire Japanese nationality.

© Children Born Abroad

When a Japanese parent gives birth to a child in a foreign country, it is possible to obtain Japanese nationality. However, it is necessary to submit a notification of the birth and intention to keep the Japanese nationality to the Japan government within 3 months after birth. If this is not done, the child loses eligibility for Japanese nationality. Some Japanese-Brazilian, Japanese-Filipino children and JFC (children of Japanese and Filipino parents) lost their Japanese nationality because their Japanese parents did not or could not submit the notification.

If a "nationality preservation application" has not been submitted and if the child resides in Japan and is under 18 years of age, he/she can regain Japanese nationality by notifying the Bureau of Legal Affairs. Consult appropriate institutions for further information of the procedures.

Consultation about Nationality Problems

JFC Network Supports JFC (Japanese Filipino Children)

Tokyo, Japan office

TEL/FAX: **03-6276-1522** (Tues, Wed, Fri.: 10:00-16:00) E-mail: jfcnet@jca.apc.org

Manila Branch (Maligaya House)

Metro Manila, Philippines TEL/FAX: (63-2) 913-8913

E-mail: maligayahouse@gmail.com



日本に住んでいる外国人が日本国籍を取るためには、帰化の手続きをします。日本人と結婚している女性は、ほかがいこくじん じょうけん の外国人よりも条件がゆるくなっていますが、日本に3年以上(結婚して3年以上の人は1年以上)続けて日本に $\frac{1}{2}$ ひつよう じぶん しんせい 住んでいることが必要です。自分でも申請できますが、たくさんの書類がいります。法務局や外国人の相談機関に そうだん 相談してみてください。

にじゅうこくせき

国際結婚をした両親の子どもは、父と母の両方の国籍を持つ人が多くいます。また、生まれた国や親の国籍をもらって二つ以上の国籍を持つ人もいます。人の移動が世界的になったために、重国籍(二つの国籍)の人がふえています。欧米のように重国籍をそのまま認めるところと認めないところがあります。住んでいる国の国籍をとって、もとてはまます。欧米のように重国籍をもてる「帰化制度」のあるスイスやフランスのような国もあります。日本には、「国籍選択制度」があるので注意してください。

こくせきせんたくせいど 国籍選択制度

2022 年 4 月 1 日から、民法の成人年齢が 18 歳に引き下げられたため、外国の国籍を持っている日本人は、がいこくおよ にほん こくせき ゆう かり 18 歳以前であるときは 20 歳に達するまでに、どちらかの国籍を外国及び日本の国籍を有することとなった時が 18 歳以前であるときは 20 歳に達するまでに、どちらかの国籍をせんたく 選択」(選ぶこと)しなければなりません。未成年のうちに、出生や親からの認知、養子縁組、国籍留保届未みていしゅう あと にほんこくせき しんせい さいしゅとく まいいせん といっとく はません こくせき せんたく 提出の後に日本国籍を申請して再取得したなどで複数国籍になった人も、国籍選択することになっています。 また 18 歳になったあとに重国籍になったときは、なったときから二年以内に国籍を選択することになっています。 にほんこくせき せんたく 日本国籍を選択するには、日本の住んでいるところの役所の戸籍の窓口で、「国籍選択届」を出します。外国に住にほんりようじかん てつづ 人でいる場合は、そこの日本領事館で手続きします。

2 二つのパスポートの使い方

4 Naturalization

If foreign residents in Japan want to acquire Japanese citizenship, it is necessary for them to apply for naturalization. Though it is easier for foreign women married to Japanese men to obtain Japanese citizenship, at least 3 years of residence in Japan is required. In case you have been married more than 3 years, one year of residence is required. Many documents have to be submitted so you may consult the Bureau of Legal Affairs or Foreigner Assistance organizations.

Dual Nationalities

Many children of international marriages acquire dual nationalities. Some have two or more nationalities depending on where they were born and their parents' nationalities. As the mobility of the world's population has increased, more people have dual nationalities. Dual nationalities are allowed in the EU and the US while not in China. In Switzerland and France, they have a naturalization system which allows naturalized citizens to keep their original nationality. You should be aware that Japan follows a system which demands you to select only one nationality.

Nationality Selection System

The age of Adulthood under the Civil Code was lowered to 18 from April 1, 2022, so Japanese nationals who also have foreign nationality must select one of the two nationalities by the time they reach 20 years of age if they became a citizen of a foreign country or of Japan before the age of 18. A person who has acquired multiple nationalities as a result of birth, recognition by a parent, adoption, or re-acquisition of Japanese nationality (after not submitting a notification of reservation of nationality while still a minor) is also required to submit a notification of selection of nationality. In addition, if a person becomes a multiple national after turning 18 years of age, he/she is required to choose a nationality within two years of becoming a multiple national.

To select your Japanese nationality, submit a "notification of selection of nationality" at the family registration desk of the municipal office where you reside in Japan. If you live in a foreign country, you can apply at the Japanese consulate there.

(Note) After that, you are expected to give up the foreign nationality. Some countries, however, don't allow their citizens to abandon their nationality. As a result, there actually are many dual nationality holders in Japan. The Japanese law states that people who have not submitted their "nationality selection notification" after due time and even after the Japanese government's prompting, can lose their Japanese nationality. However, no one has had their Japanese nationality actually taken away yet.

In 2003, The "Kokusai Kekkon o Kangaeru Kai" (Affiliation of Multicultural Families) submitted an inquiry to the Ministry of Foreign Affairs regarding how the law had actually affected people with multiple nationalities. The government replied that they had never actually prompted anyone nor had taken away anyone's nationality based on the nationality selection law.

2 How to Use Two Passports

Those who have dual nationality should be aware which passport should be used. According to the guidance of Foreign Ministry, they should use their Japanese passport when going in and out from Japan. The other passport should be used in the other country only.